

令和4年8月8日

東員町議会広報広聴常任委員会

委員長 広田 久男 様

東員町議会

広田 久男 ㊟

## 研 修 報 告 書

研修期間	令和4年7月29日（金） ～ 月 日（ ）【1日間】
研修（視察）先	三重県地方労働文化センター 大会議室 （津市栄町）
目的（テーマ等）	「議会広報の基本と編集」および「広報クリニック」
資料添付の有無	無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

〔氏名：広田久男〕

研修概要、内容、所感

## ■講師紹介：芳野政明（議会広報サポーター）

1947年宮城県国富町生まれ。一般社団法人埼玉県コミュニケーションセンター理事長。各種団体の広報・機関紙の編集や編集者養成にかかわる。

近年は主に議会広報研修会の講師活動、ならびに全国町村議会広報コンクール審査委員を務めている。

### 1. 研修概要

- ・三重県市町総合事務組合が主催する議会広報研修会に広報広聴委員6名（全員）で参加した。県内では8市4町、合計37名の参加であった。（7月29日）
- ・午前中は「議会広報の基本と編集」に関する講義を受け、午後は参加市町が制作した議会だより最新号のクリニックを受けた。
- ・東員町議会だよりのクリニック結果は、指摘もあったが他市町に比べて予想以上の高評価であり、結構気分をよくした研修であった。

### 2. 研修成果

#### 2-1. 議会報発行の目的を明確にせよ

- ・誰のため、何のための広報か、一生懸命に議会活動をして、それが住民に伝わらなければ意味がない。まちづくりの主体は「住民」であり、住民といっしょに町の政策や計画を考えるようにしてゆく、そのための大切なコミュニケーション・ツールのひとつである。
- ・議会広報コンクール受賞、埼玉県寄居町と宮城県岩泉町の編集方針と広報紙面を見本例にして広報の意義について説明を受けた。とても感銘した。

（一部抜粋）広報の中に広聴活動が入ってきている、つまり、住民が参加している…そして、有りのまま等身大で伝えている。と、

しかし残念ながら、今の自分には次元の違う広報誌に見えており、到底追いつけそうにはないレベルである。より一層頑張らねば！

#### 2-2. 伝わる広報へ編集スキルを向上せよ

- ・「難しい、読みづらい」から「読みたくなる、わかりやすい」をめざす。つまり、読者が身近に感じる⇒自分ごと化 ができるような紙面をつくる。
- ・多忙な読者（住民）を読む気にさせるには⇒瞬時に内容把握ができるように。それには、
  - ①見出し…タイトル、大見出し、中小見出し←読者を惹きつける”ツカミ”
  - ②リード文…概要説明、結論、重要点

③写真および図表…重要な要素！ 的確なキャプションで記事を補完する

④記事・本文…伝えることの絞り込み

⑤余白の効用…ホワイトスペース

などなど、たくさんの具体的編集テクニックについて見本広報の例などを交えて説明を受けた。とても分かり易かったと思う。(内容割愛)

しかし、**習うより慣れろ!**という言葉が脳裏に浮かんだ。

つまり、学習するだけではスキルアップにはならない。実際の議会広報づくりの中で、それらのテクニックを実践し磨いてゆかなくては、と改めて感じた。

### 3. 広報クリニック

#### 3-1. 東員町議会だより 152号(7月1日発行)のクリニックを受けた

- ・(表紙)こども歌舞伎…写真 Good、コンテンツ(目次)は、興味を引きつけるような中味を出す(各ページの見出しなどを)
- ・(P2~P3)補正予算…全体 Good、タイトル・見出し Good、金額/概要説明/問答セットで丁寧に説明している Good、写真も適切 Good。
- ・(P4~P7)一般質問…全体 Good、タイトル・見出し Good、議場本番写真 Good。
- ・(P8)各議案の賛否…議案内容の簡潔な説明を追加するとよい。
- ・(P9~P10)アンケート…好企画 Good、長野県飯綱町議会を参考にする。
- ・(P11)追跡/読者の声…全体 Good、長文は小見出しをつけるようにする。
- ・(P12~P13)議会報告会…出された意見を可能な限り掲載してほしい。

研修資料 P80~P82 参照

- ・(P14~P15)委員会活動…見出しは委員会名ではなく、活動内容を出すこと。
- ・裏面…Good

#### 3-2. 講師の総評/改善点など

- ・いっそうのグレードアップを期待します。との評価を受けて、ちょっといい気分になってしまった。

以上